

ふるさと創生基金事業

(1) 趣旨

市町村合併により、地域住民の不安を解消するために、合併特例債等の活用により 40 億円を積み立てて基金を設置し、その運用益により旧市町村の区域における地域振興を図る事業や新市の一体感醸成に資する事業を展開しています。

それにより、市民と行政が協働し、連携して事業を実施し、その中で行政主体から地域住民主体への転換を図り、市民活動や地域活動を地域住民自ら考え、具体化し、実践していきます。

(2) 対象事業

①各支所が行う旧市町村単位の地域振興のために、合併後に企画する新規ソフト事業

②合併以前より行われている地域イベント等の拡充事業

※原則として、単年度事業です。なお、継続事業の場合、継続の必要性や予算措置など様々な課題がありますので、事前に地域振興戦略部に相談願います。

■ポイント

長岡市ふるさと創生基金事業については、市町村の合併の特例に関する法律第 11 条の 2 第 1 項第 3 号により積み立てた物で、逐条解説では地域振興や地域住民の一体感の醸成のためのソフト事業を行う為の基金設置に対する地方債の特例措置として位置づけています。

※従って「ハード事業」は対象外です。

「ハード事業」と「ソフト事業」の定義は明確にされていないため、下記の考え方とします。

■ポイント

ハード事業とは…基本的に、道路、水路、建物等地面や他の構造物等に固定された構造物又は建物の柱、床、壁等を建設し、又は改修する事業。

ソフト事業とは…人が活動することにより成り立つハード事業以外の事業

(調査研究、計画策定、人材育成、サービス提供、イベント開催等)

※材料を購入して地域住民の直営による遊歩道や看板作成などについては認めています。

対象となる事業 (例)

地域の行事の展開・伝統文化の伝承等に関する事業の実施

民間団体への助成・コミュニティ活動・自治会活動への助成・商店街活性化対策

※長岡市の政策と重なる場合本庁担当課でも把握した方がよいので、事前協議を行ってください。

※自治会などへの事業費の助成は、事業内容を確定し、交付申請、交付決定、実績報告、交付額確定の事務を正確に行う必要があります。

(3) 対象経費と対象外経費

①対象経費

区 分	経費の種類
報償費	実行委員謝金、講師等謝金、調査・研究の謝金、協力団体謝金、作成協力謝金
旅費	交通費
需用費	消耗品、燃料費、食糧費 (注)、印刷製本費、光熱水費、食材料購入費
役務費	通信運搬費、広告料、手数料、保険料
委託料	警備委託、運營業務委託、作成業務委託
使用料	会場借上料、機器・車等のレンタル使用料、有料道路通行料金、駐車場使用料
原材料費	原材料購入費
備品購入費	個人や団体に帰属しない備品で地域振興戦略部と協議したもの
補助金	助成金

(注) 食糧費については、講師用弁当、会議用飲み物に限ります。

※これ以外の経費については、地域振興戦略部と協議をお願いします。

②対象外経費

報酬 (給料、賃金など)、食糧費 (飲食、慰労会など)、個人や団体に帰属する備品
地域コミュニティ事業補助金など、他の補助金事業などで取り組む事業

小国地域ふるさと創生基金事業

地域 決算額(円)	事業名	事業内容
平成 17 年度 1,750,000	集落防災計画策定事業	<p>期間 平成 18 年 3 月まで</p> <p>目的 中越大震災では地域コミュニティの大切さが改めて見直されている。本事業により地域コミュニティの基礎単位である集落の防災体制を整備し災害に強い小国地域づくりを進める。</p> <p>内容 各集落の災害危険箇所の把握、警戒態勢の整備、情報連絡体制の整備、弱者の保護対策、安否確認、防災備品の調達、避難所の確保、避難経路、避難所食糧の調達、防災上の問題点の洗い出し等を行い集落防災計画として取りまとめた。</p> <p>集落防災を視点に防災訓練と講演会を行った。</p> <p>日時：平成 17 年 10 月 23 日（日）</p>
平成 18 年度 2,175,849	<p>①おぐに地域フラワーパーク助成事業</p> <p>②高齢者介護予防事業</p> <p>③長岡市おぐに森林公園林間再生計画作成事業</p>	<p>①集落内の空き地等を利用し、花壇作りを行う。花壇の箇所数・面積・レイアウト・花の種類などは自由とし、300 本以上の花の植栽を事業の対象とする。</p> <p>②介護予防の重要性が増した中高年者に対し、効果的な運動の機会を提供することにより、健康づくり・介護予防の意識向上を図り、元気高齢者を増やし健康寿命を延ばす。また、リーダーとなる運動指導者と共に、地域での自主活動を支援し活性化を図ることで、いつまでも元気で自立した生活をするを目的とする。</p> <p>③検討委員会を設置し、森林公園にある林間を再生し、手入れされた緑の森づくりのための計画づくりと、そのために必要な試験的な活動を専門的にすることを目的とする。</p>
平成 19 年度 2,289,659	①法末神楽舞等文化財記録保存伝承事業	①地域に密着してきた伝統芸能を見直し、後世に語り継ぐため、継承が一層困難になる前に映像として保存し、伝承するための方策を模索する。
平成 20 年度 1,920,207	<p>①「もっと知りたい」事業 兼続・実頼編</p> <p>②森林公園芝生植栽・山野草園拡充事業</p>	<p>①平成 21 年 NHK 大河ドラマ直江兼続の実弟である小国当主・実頼についての歴史講演会を開催し、パネラーによるシンポジウム及び基調講演を行う。</p> <p>②森林公園の魅力を高めて誘客を図るために、林間広場芝生の再生植栽と山野草園の拡充を行う。</p>
平成 21 年度 2,096,183	<p>①小国芸術村特別展「紙漉き」体験・交流事業</p> <p>②小国森林公園芝生植栽・遊歩道魅力づくり（案内看板設置）事業</p> <p>③法末野営場里山づくり体験事業</p>	<p>①小国芸術村特別展開催にあたり、世界及び全国の手漉き紙に関係する職人・芸術家を招聘し、体験・交流を行った。</p> <p>平成 21 年度は、開催日初日に芸術村会館において、全国最高齢者の「上山紙」（麻布紙ともいう）の紙漉人である土屋一郎氏（山形県上山市在住）を招聘し、紙漉き体験を実施することで、地域の伝統工芸の素晴らしさを多くの方々に発信した。</p> <p>②森林公園第 1 林間広場を、専門家の指導を受けながら芝を植栽することで、魅力的な緑溢れる公園を再生するとともに、小国城跡までの遊歩道に説明看板を設置することで付加価値を持たせ、公園の活性化と新たな誘客を図った。</p> <p>③地域の活性化と小・中学校などの体験活動を推進するため、里山づくり体験教室を以下のとおり実施した。</p> <p>刈払い体験と植樹、植栽、講義（里山の話） 講師：新潟大学農学部の先生、地元お年寄り</p>
平成 22 年度 2,066,411	<p>①小国芸術村「衣人紙舞台」事業</p> <p>②小国の魅力発信事業</p>	<p>①服飾デザイナー赤野 安氏を招き、古布からの衣服づくりの実演や展示を行う。</p> <p>②HP を開設し、将来的に観光協会が管理。</p>

地域 決算額(円)	事業名	事業内容
平成 23 年度 1,978,410	①小国芸術村特別展「紙の使い手」小川原めぐみ作品展 ②小国の魅力発信事業 ③小国地域のこれからの医療と福祉を考えるシンポジウム	①紙工芸作家 小川原めぐみ氏による特別展の開催及び小学校での特別授業の開講 ②地域資源を発信する HP の内容拡充 ③小国地域が抱える医療・福祉・保健の課題について検討するシンポジウムの開催
平成 24 年度 2,038,322	①小国芸術村企画展 ②高齢者元気支援事業 ③元気な小国を育てる事業	①芸術村で親交のある作家による作品展開催及び地域の小学校での特別授業実施 ②WSによる人とのつながりの形成、けんこつ体操の支援の充実等を実施 ③健康づくりの気運醸成のため、食に関する講演会とウォーキング大会等を実施
平成 25 年度 2,070,000	①小国芸術村企画展 ②子育て・親育ち応援事業 ③「おぐにまつり EVENT」PR 事業	①小学校にて特別授業及び作品展開催 ②講演会や子育て教室等の開催 ③地域の四季のまつりのチラシ作成
平成 26 年度 1,948,512	①小国芸術村企画展 ②子育て応援事業 ③長岡市おぐに森林公園企画イベント事業	①小学校にて特別授業及び作品展開催 ②育児サークル育成やママ友交流会への講師派遣、講演会の開催 ③森林公園施設を活用した小国地域の匠の作品展や秋の収穫物でも煮的な体験型感謝祭の開催
平成 27 年度 1,790,991	①小国芸術村企画展 ②多世代交流すくすく・いきいき支援モデル事業 ③長岡市おぐに森林公園企画イベント事業 part2 ④情報発信事業（ののプレ秋のわらわら祭り in 武蔵野）	①小学校にて特別授業及び作品展開催 ②育児サークル育成やママ友交流会への講師派遣、講演会の開催 ③森林公園施設を活用した小国地域の匠の作品展や体験学習型イベントの開催 ④友好都市東京都武蔵野市で小国のアピールを実施
平成 28 年度 1,790,000	①小国芸術村企画展 ②子ども食育推進事業 ③移住促進ネット動画制作事業 ④小国の魅力再発見事業（オーイ発見 小国の旅）	①小学校にて特別授業及び作品展開催 ②「食」に関する知識と「食」を選択する力の習得、健全な食生活を実践するための講習等の開催 ③小国地域のPR動画を作成し、インターネットで情報発信を行う ④小国の地域資源を集客アイテムとして活用、観光ガイドの質向上に向けた取り組みの実施

※ 地域委員会からの意見（キーワード） ※

平成 27 年度地域委員からの意見（28 年度事業への提案）

- ・ 森林公園事業及び森林公園周辺の農地の活用事業
- ・ 利雪生活研究プロジェクト（地域生活における雪の利用を研究する）

平成 26 年度地域委員からの意見（27 年度事業への提案）

- ・ 森林公園事業（森林公園で1日楽しめる企画、イベントへの助成 等）
- ・ 森林公園周辺への小国の宝の集約
- ・ 介護予防事業（プール、けんこつ体操）
- ・ コミセンまつり（コミセンPR事業）
- ・ 東京アンテナショップのイベント
- ・ 若い者及び若い世代の夫婦が住み続けられる地域づくりの取り組み
- ・ 子育て世代を引き込む
- ・ I ターン、U ターンを増やしていくための取り組み（メリット作りとPR）